

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：越谷アリタキ緑の会

20A-06

代表者：会長 二宮龍児

URL：

1. 活動が必要とされた状況

【越谷アリタキ植物園】故植物学者の有瀧龍雄氏が所有し、生前当時は植物園自然保護国際機構(BGCI)にAritaki Arboretumとして登録されていました。2002年に越谷市に遺贈され、2010年「越谷アリタキ植物園」として開園しました。現在は一般の公園と同じ位置付けで越谷市が管理しています。【越谷アリタキ緑の会】の会員は、近い将来「日本植物園協会」に登録することを目指して、園内の整備・観察・調査を継続する一方、展示室資料の質的向上に努め、植物の大切さの普及啓発活動を行いながら、貴重な展示樹木が宝の持ち腐れにならないように市や県の環境・教育関連部署に申し入れているところです。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

・ 5/4	みどりの日 無料開園日	1,025名
・ 6/16	初夏のツリーウォッチング	136名
・ 6/28	挿し木教室	16名
・ 7/7	夏のツリーウォッチング	75名
・ 7/22	夏休みわくわく体験 ①	67名
・ 8/6	夏休みわくわく体験 ②	109名
・ 9/12	アリタキ植物園写真教室	8名
・ 9/18	敬老の日 無料開園日	68名
・ 10/1	開園記念日 無料開園日	109名
・ 10/31	秋のツリーウォッチング ①	75名
・ 11/9	秋のツリーウォッチング ②	135名
・ 11/15	秋のツリーウォッチング ③	123名
・ 12/5	アリタキ植物園写真教室	9名
・ 1/17	冬の一斉雑草取り予定	35名



3. 活動の成果

開園以来近隣の小学校に、越谷アリタキ植物園を校外学習の場として活用することを推奨してきました。利用している小学校は徐々に増え8校になりました。リピーターで毎年訪れる学校もあります。2017年度は1月迄に4校計5回548名の小学生が来園しました。また市内の子育てグループと協働で事業を企画し、今年度は3回行うことが出来ました。展示室も、写真付きの展示パネルを増やし、季節に合わせて都度交換しています。木の実や葉っぱの実物を展示したり、カブトムシ・スズムシを飼育し水槽での展示を試み、展示方法も工夫し、子供たちに好評を博しています。

4. 今後に残された課題

- 展示物・展示品の質的向上を図る。
- リピーターに魅力ある展示室作り。
- 出前講座・園外展示等、広報活動を拡げる。
- 越谷アリタキ植物園図鑑(仮称)の2020年発行を目指す。

